

群マネの実施方針(滋賀県、大津市ほか18市町)

別紙1

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「滋賀県内における橋梁点検・修繕設計・修繕工事などに関する水平連携」事業主体:滋賀県

[実施内容]

(1)業務のマネジメント戦略

①対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス インフラ分野	構造物の定期点検関連						
	日常維持管理業務	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路				橋梁	橋梁	橋梁	
					建設技術センターによる地域一括発注	建設技術センターによる監督業務の支援	建設技術センターによる積算・監督業務の支援
河川							
公園							
下水道							
その他							

・H27年度～
橋梁点検の地域一括発注

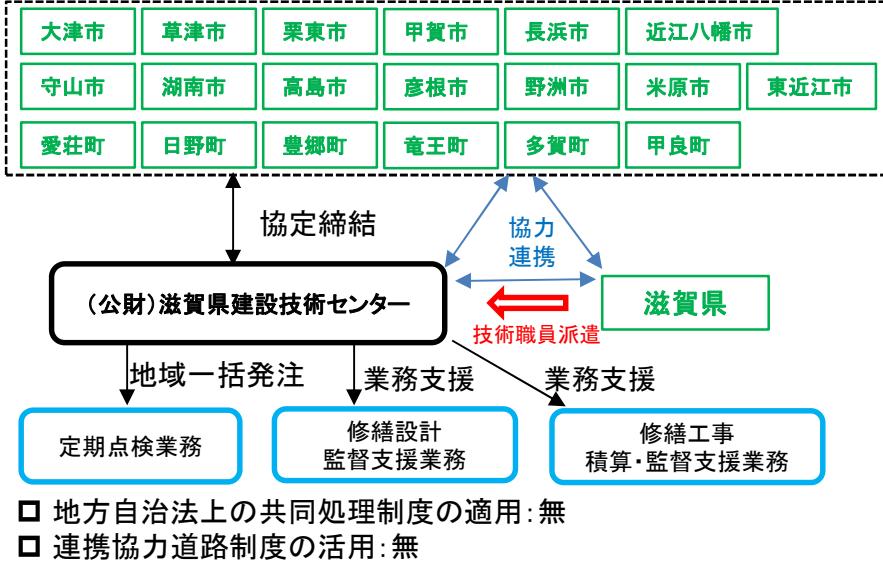
今後の展開

R9年度以降は、橋梁や他の道路施設に関する修繕設計の地域一括発注や、修繕工事の地域一括発注のスキームを検討する

②発注方式等

- 契約期間の複数年化 :無
- 性能規定の導入 :無

(2)自治体の束



(3)技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

- ⇒ 橋梁担当者会議や道路メンテナンス会議の場を活用して、共同で意見交換会や研修を実施予定。
滋賀県からの技術職員派遣により技術職員の技術力向上に寄与

②データ連携の具体メニュー

- ⇒ (公財)滋賀県建設技術センターが開発した定期点検調書作成支援ソフトを他の構成自治体において活用している。
積算ソフトや工事管理情報システムの共有による業務の効率化を図っている。